

事館だより

2018. 1. 15.

Tel. 047-320-3346 発行:市川市中央図書館 編集:広報委員会 〒272-0015 市川市鬼高1-1-

千葉県公共図書館協会創立60周年記念 協賛号



図書館を構成するのは、施設・人・資料の三要素とされています。この三つのバランスがうまくとれたうえで、 貸出やレファレンスなどの基本的なサービスから図書館の活動を組み立てていくことになります。例えば、施設が どれだけ立派でも図書館の資料が揃っていなかったり、資料をよく知っている職員がいなければ、図書館はサービ スがうまく機能しないといえます。





レファレンス (調べものの手伝い)

三要素をさらに大きく二つに分け、 市川市の主要な図書館サービスを 区分けしてみました。

- コピー (複写) サービス
- 類縁情報機関の照会
- ●県立・国立国会図書館との相互協力

多様な資料の提供

データベース

オンライン

- Web 情報源 ●新聞記事データベース
- ●官報や法情報のデータベース
- ●「青空文庫」電子テキスト ●オンライン百科事典 ●国立国会図書館図書館向けデジタル化資料送信サービス
- ●本と人を結びつけるために 興味を引くテーマで紹介

テーマ展示

貸出•返却

リクエスト

市民

微媒体

地域資料のアーカイヴ

テッタルコンテンツ ●著作権保護期間終了の (電子資料) 地図等の画像保存

IC

●セルフ化

蔵書検索

ホームページ

●貸出状況・予約状況のセルフ確認

特定対象サービス

- ●児童サービス
- ●乳幼児へのサービス
- ●ヤングアダルトサービス (中高生対象)
- ●障害者サービス (ハンディキャッ
- プがある方のために)
- ●外国人へのサービス
- ●団体へのサービス

広報・PR

利用支援

- ●利用案内・ガイドツアー
- バックヤードツアー
- 学校支援
 - ●学級文庫の貸出
 - ●図書館実習生の受入

 - ●インターンシップの受入 ●職場体験

市内大学図書館と

- ●図書館友の会
- 点訳・音訳・さわる 絵本等、障害者向け 資料の作成

ボランティア

団体との協力

- 読み聞かせ等の 出張サービス

- ⇒未来の司書をサポート

の連携

- 千葉商科大学付属図書館
- ●和洋女子大学メディアセンター

施設

各種イベント

(本との出会いを創出)

リサイクルブック市

利用しやすい運営

●イベント会場での出張 PR

開館日・開館時間の拡大

関連施設での図書受渡し

- ※資料以外の
- 資源を含む

●ぬいぐるみお泊り会

書架等備品

閲覧席

Wi-Fi 接続

●PC 持ち込み ビジネス席

●メルマガ・SDI サービス

■スマホ版 蔵書検索ページ

●予約連絡・督促等の自動化

集密書庫

返却ポスト

Web サービス

●Web からの予約

●Web での貸出延長

- ●「返しやすさ」の利便性向上

自動車図書館

- ■図書館がない地域に、 車に本を載せて巡回



- 効率的な運営形態 ●業務委託
 - ●指定管理
 - ●PPP:公民連携
 - (パブリック・プライベート・パートナーシップ))

昔は葛飾八幡宮の境内に ありました!!!

四島館の歴史を写真で振り返る



左: 昭和32 (1957) 年開館の 旧市立図書館

右: 旧市立図書館 新館建設中 昭和 43(1978) 年開館







左: 旧市立図書館2階 閲覧室

右: 旧市立図書館所蔵 貸出用レコード

そして中央図書館へ

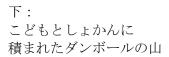


現在の中央図書館は、日本毛織工場跡地に建設されました。 中央図書館では、日本毛織の社史等、地域の古い情報を集め、 後世のために大切に保存する役割も担っています。

八幡の旧図書館から、鬼高に建設された現在の中央図書館へ資料を搬出しました。



左: コンテナに収めた図書が大 量に詰まれています。





建設中の中央図書館







平成 6 (1994) 年 11 月 市川市生涯学習センター 開館記念式典の様子 2 階グリーンスタジオにて

市内各図書館

行徳図書館 (旧行徳中学校)

移動図書館車庫工事





左:昭和 39 (1964) 年行徳分館開館

四和 50 (1975) 年行 徳分館で移動図書館 車庫工事が始まり、9 月にみどり号の運行 が始まりました。



昭和55 (1980) 年4月、行徳図書館・移動図書館は、本行徳公民館図書室の3階に移転し、開館しました。 昭和56 (1981) 年10月には行徳図書館のみ、行徳支所の4・5階 (現在の行徳公民館) に移転、その後現 在の行徳図書館が、平成元年(1989) に行徳支所の隣に新たに建設され、開館しました。 移動図書館は、中央図書館開館と同時に同館の地下に移転し、名称を自動車図書館と改めました。





昔の移動図書館車

1代目:みどり号1号車

2代目:みどり号2号車 (レッサーパンダが描かれました)

現在の自動車図書館車 3代目:みどり号



昭和54年2月昭和58年10月昭和60年11月昭和62年10月平成21年4月

市内3番目となる信篤図書館が開館しました 市内4番目となる南行徳図書館が開館しました 図書館業務が電算(コンピュータ)化されました 平田図書室が開室しました 市川駅南口図書館が開館しました

南行徳図書館開館式

豆知識:蔵書印とは

所有者が自分のものである事を示すために押す印です。 図書館では、蔵書の電算化に伴い、今はあまり見られなくなりましたが、昔は図書館の所蔵を示すために押されていました。個人でも蔵書印を作成する人や、蔵書印の陰影を集めた印譜をコレクションする人もいます。

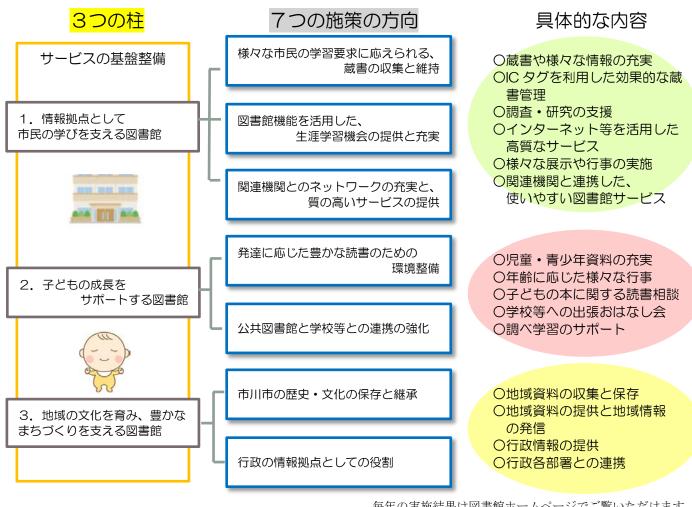


現代の図書館は、情報通信技術の活用が進み、蔵書の管理もコンピュータや IC チップなどで簡単に管理できるようになりました。また、インターネットの普及により、様々な情報を椅子に腰かけたまま手に入れることもできます。デジタル化の進んだ図書館は確かに便利ではありますが、図書館閲覧票を記入して図書を借りていたり、レコード・コンサートを行っていたりと、昔の図書館にはその時代独自の趣がみられます。時には古き良き時代の図書館に思いをはせてみるのも楽しいかも知れません。

前ページとこのページに記載された内容は『市川市の図書館 昭和編』、『まつかぜ』で詳しく見る事ができます。

市川市の図書館サービスの目指すもの

市川市の図書館では、図書館サービスの基本となる「市川市立図書館運営基本計画」を策定しています。 計画では、三つの柱の下に、7 つの「施策の方向」を置き、これに基づき更に具体的な施策を設定して運 営をしています。今後も、図書館の果たすべき役割を明確にしながら様々な事業を展開し、市民の皆様の 期待に応えられるよう図書館サービスを充実させていきます。



毎年の実施結果は図書館ホームページでご覧いただけます http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/info/1221.html

テーマ展示

「敬天愛人-西郷隆盛とその時代-(12月~1月)

2018年1月から始まるNHK大河ドラマの主人公は



明治維新で大きな役割を果たしたご存知 西郷 隆盛 です。 西郷が活躍した幕末から明治初頭は大変革の時代。 この時代を西郷や周囲の人々はどのように生きたのか、 さまざまな角度から覗いてみませんか?

市川歴史博物館が所蔵している『戊辰戦記絵巻物』や古文書も展示しています。



「市川図書館だより」は年4回の発行です。次回の発行は3月を予定しております。